

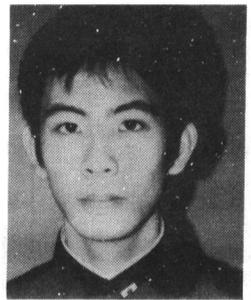
「正月をむかえて」

鳥取県岩美中学校一年

山根伸也

ぼくの家は、四大家族です。そして、毎年正月など、他の家のお父さん達が帰って少しの間、海に出なくてもいいというような時、ぼくは、いつも「お父さんがいたらなあ」と思います。その理由は、ふだんちよこちよこ帰ってくるときは、別になんとも思わないけど、少しの間、家にいるような時、親類の家の子がともうれしそうに「お父ちゃん、お父ちゃん」と言っているからです。でも、ぼくは、このことは他のお父さんがいない家より幸福だと思いません。その理由は、どこに行くにも、親せきのおばさんがぼくたちをつれていってくれるからです。

小学校の時は、お父さんに相談するような事があってもお母さんですんだ



山口県立萩高校一年

中村修司

父がなくなって早くもちよちよ十年間が過ぎようとしています。あのとき小学校入学をあと一ヶ月としていたばかりも、今では高校一年生へと成長しました。幼かった妹も、中学一年生となり、自分自身の道をわずかながらも進みつつあるようにさえなりました。

今、改めて十年前の父を回想してみると、アルバムなどを見て思い出すのはべつとすると、父に関すること全部に対して、10パーセントも思い出さずにはできないだろうと思います。ひど

この十年間

くおこられたことはないし、「父はどんな人でしたか」と尋ねられても、ただ単に「いい人でした」としか言いようがありません。

この十年間、父がいてくれればと思うことばかりでした。しかし、母たちの前ではそんなことを言ったりそんな素振りをしたことがないと思います。もし、そんなことをすれば母が悲しむと思うからです。なんて格好のいいことをいっても、クラスの友達たちの「俺のおやじは」という声を聞くと、やはり「俺にも」と思ってしまうんです。

クラスの名簿を手にしたとき、なぜか目は父母の名前が記してある欄に向ってしまいます。自分の所には父の名が入る所は白くあけてあり母の名だけがのっています。小学校のときまでは自分だけが特別な目で見られていたような気がして、たいへんいやな気持ちをしたことがよくありました。

しかし、年が増し、同じ海難遺児の作文を読んでいくにつれて、だんだんとそれがはげみになってくるのに気がつき、自分もやらなければならぬと思うようになりました。

現在のぼくの最大の望みは、母を安心させてあげることです。それにはまだ時間が必要とします。

今の進路の希望は進学しようと思っています。母は自分の良いと思う道を進みなさいと言ってくれています。

母はぼくたちを育てるため、いろいろと苦労してきました。今度はぼくの方か母を養わなければならぬから、これからは安心させてあげたいので、もっとと長生きをしてもらいたいと思います。

最後に、社会の方々にあつく感謝いたします。

(〒758 山口県萩市 上野一〇三三六)

私の十八年の歩み



楢本テル子

私達親子にとって、忘れることができないのは昭和三十九年三月。その年の四年前に家を新築し、家族五人幸せな毎日をすごしていたのに、突如として襲った海難事故の悲報は、家族の生活を一変させました。

これから先どう暮らしてよいのかという不安は、月日とともに強くなり、夫を亡くした悲しみの気持より怒りの方が強くなりました。でも、幼ない子供を抱えており途方に暮ればかりいって主人に申し訳ない、遺された子供を人並に成長させなくては仕事を探している時、幸いにも地元漁協に欠員が

出勤時刻が早い(夜明け二時ごろ)、休みが少ないなど苦労もいろいろありましたが、忍耐、責任、努力をモットーに一生懸命働きました。その仕事も二年前に停年となりましたが、幸いに第二の職場もすぐ見つかり頑張っております。

こうして、長い間健康で働いてこれたのも周囲の皆様の支えがあったからだと思えます。皆様の励ましに對して報われない一心から十七年前より市役所の調査員、協力委員を引受けております。調査員の仕事は、市の広報紙の配布なのですが、私の働く姿を見て、子供たち三人とも印刷物の配布等よく協力してくれました。子供たちは、誰一人として親に反抗することもなく、本当に素直に育ってくれたのが、何よりの糧でした。いまでも毎日、朝や夕に靈前に向い主人の冥福を祈るとともに、一日の報告と「どうか、私達を見守ってください」と願うのが私の日

全国海友婦人会

街頭募金活動

海で働く夫や息子さんをもつ家庭婦人の全国組織(商船・漁船等を含む)である全国海友婦人会の皆さんから、同じ海で働く家族をもつ仲間として、海難遺児を励まそうと、街頭募金やバザーの売上金の一部など育英会に寄せられています。

ここ東京でも、全国海友婦人会東京支部・武蔵野支部の皆さんが、昨年度に引き続き本年度も街頭募金を行いました。当日はあいにくの小雨まじりの天気の良いか人通りも少なく足早に通る人が多かったのですが、婦人会の皆さんの熱心な呼びかけに、高校生や

海難遺児達への願い



浜田達子

水の流れのごとく月日のたつのは早いものです。昭和四十七年十一月夫が乗っていたいか釣漁船が、漁を終え帰港中、突然に起った海難沈没事故の発生以来、もう、十年という歳月が過ぎ去ってしまいました。

あの頃幼かった子供達も今はすくすくと元気に育ち、海底に眠る父の面影を知ってか知らずか、今では親に負けないほど大きく成長してくれました。

当時さみしく、つらい毎日であったあの頃を思う時、ここまでよくやって来たものだと思う反面、まだまだこれか

供に育てたい、また、母にとつてやさしい女の子である様にと願い、親馬鹿な甘い気持ちに自分で満足して、毎日の労働に励んで来ました。

その毎日の生活の中で、この様な悲惨な事故は二度とあってはいけません。私達だけでもよいのだと繰返し願いつつ暮らしてきましたが、その願いもむなしく、十二月一日当地区でも荒れ狂った日本海で底曳網漁船の遭難がありました。残されたご家族の胸中を察するときに、なんともいえない悲しみが襲いかかってくるのを覚えます。

前に味わった忘れようとして、忘れることの出来ない深い傷あとを想い起こし、これからのきびしい人生の難道を父親なしで生き抜く子供達は、どんなにかさみしく、きびしい一生であろう。

小さい時から「お父さん」と呼べずどんなにか悲しいことだろうと、思う母親の気持を察してか、子供達は元気に、楽しく、友達と勉強にはげみ、楽しんで遊びまわっている昨今です。

いろいろな海難事故が新聞、テレビ等で報道される毎に、家族で当時の苦しい生活をふりかえり、話し合います。

二度と船には乗らないと言っていた長男も、老祖父母、妹弟をかかえた生活を察してか、今では地元漁船に乗組んで亡き父に代って、私の手助けしてくれております。

子供達が困難にくじけず、立派に成長し、社会人となってくれることを願うものです。

私達親子にとって、忘れることができないのは昭和三十九年三月。その年の四年前に家を新築し、家族五人幸せな毎日をすごしていたのに、突如として襲った海難事故の悲報は、家族の生活を一変させました。

これから先どう暮らしてよいのかという不安は、月日とともに強くなり、夫を亡くした悲しみの気持より怒りの方が強くなりました。でも、幼ない子供を抱えており途方に暮ればかりいって主人に申し訳ない、遺された子供を人並に成長させなくては仕事を探している時、幸いにも地元漁協に欠員が

出勤時刻が早い(夜明け二時ごろ)、休みが少ないなど苦労もいろいろありましたが、忍耐、責任、努力をモットーに一生懸命働きました。その仕事も二年前に停年となりましたが、幸いに第二の職場もすぐ見つかり頑張っております。

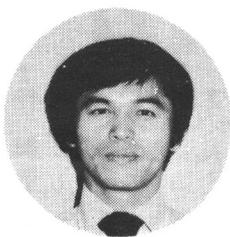
こうして、長い間健康で働いてこれたのも周囲の皆様の支えがあったからだと思えます。皆様の励ましに對して報われない一心から十七年前より市役所の調査員、協力委員を引受けております。調査員の仕事は、市の広報紙の配布なのですが、私の働く姿を見て、子供たち三人とも印刷物の配布等よく協力してくれました。子供たちは、誰一人として親に反抗することもなく、本当に素直に育ってくれたのが、何よりの糧でした。いまでも毎日、朝や夕に靈前に向い主人の冥福を祈るとともに、一日の報告と「どうか、私達を見守ってください」と願うのが私の日

都道府県別奨学生数

(昭和56年12月末現在)

Table with columns for Prefecture (県名), Scholarship Recipients (学資給与奨学生), Award Recipients (奨学金賞与奨学生), Total (合計), and 56th Year 3rd Revision Regular Recipients (56年度第3回新規採用者). Rows list 47 prefectures and a total row.

(注)学資給与奨学生の()内は特殊児で外数である。



(社)福井県漁業指導協会 武田忠男

海難事故をなくし明るい漁村に

漁船海難遺児を励ます運動が、昭和四十四年から始まりはや十三年が経過しました。一昨年は、育英会の設立十周年を記念して「全国のつどい」が盛大に開催され、この運動が一般国民にまで理解されるようになったことは大きな成果であり、誠に喜ばしい限りであります。

もとよりこの運動は、漁業協同組合運動としての相互扶助の精神を基調に盛り上ったものであり、漁業者の強い連帯感と尊い人間愛が根底にあつて今日の実績をみるに至ったものと信じております。この運動が今後さらに広く国民に理解され、育英事業がより一層充実したものと念願する次第であります。

それとともに、これ以上遺児をふやさないようにすること、即ち海難事故の防止に最大の努力と対策を講ずることが最も重要であり、これが強いことは育英事業の充実にもつながることと確信しております。そのためには、海難事故防止の教育を徹底し、「海難事故は防げる」と漁業者自身が自覚し、日々努力することが大切ではなからうかと思ひます。海難事故をなくし、住みよい明るい漁村を築くこと、これがこの運動の最終目的であり、漁業者が等しく念願す

本年度第四回願書受付 一月三十一日まで

この貴重な映画を埋もれることのないよう有効に活用し、海難事故の防止と遺児を励ます運動の推進に役立てていただきたいと思います。

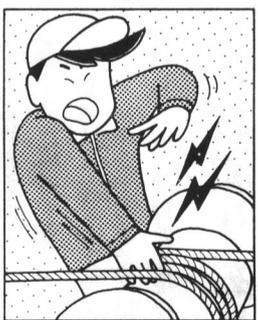
沿岸漁業労働災害 防止活動のお願い

全国漁業協同組合連合会

海難は、海上で働く者にとつて死亡事故につながるものとして最も恐ろしい。そのためのいろいろな防止対策が行われているが労働災害については、案外その恐ろしさが忘れられがちです。最近沿岸漁船においても、機械化が進み、漁労作業中の船上は、大変危険なものとなっております。全漁連は、昭和五十四年に沿岸漁業の災害実態調査を行いました。これによると、転倒、はさまれ、巻き込まれ、はねられ、海中転落の順に事故が発生しており、特に、三トン未満船では海中転落が、転倒について第二位を占めています。事故は、死亡・行方不明という最悪の事態はまぬがれたとしても後遺症を起し、その後の漁業労働に支障をきたす例がかなりあります。そこで、全漁連は昭和五十五年より、沿岸漁業者の労働災害を未然に防止することを目的に「沿岸漁業労働災害防止指針」と「災害防止のしおり」を作成し、全国の漁協に配布し、労働災害未然防止の啓蒙活動をお願いすると同時に、全国の労働災害多発地帯において労働災害防止の講習会を実施しています。海上作業には、危険が常につきまといております。したがって事故を未然に防止したり、また、二度と同じ事故を繰り返さないためには、常に働く者が注意を怠らないことが大切です。それには最も大切なことは、漁協において災害の体験談や未然防止の話し合い、また安全講習会等を行うことだと考えます。そして常に事故の危険に対応する心構えを漁業者一人一人が持つよう心がけていただきたい。このような講習会等に全漁連が作成した「指針」「パフレット」を役立てただければ幸いです。

揚網機やドラム等のまきこまれ災害防止

- 1 回転軸やプリーのベルトにはカバーをつけること。
2 カップや上衣のスソをしめ、前掛のヒモなどをたたらさないこと。
3 ワイヤやロープのもつれをとるときは、機械の回転をとめること。
4 揚網機やドラムの運転には、熟練者をつけること。



『募金・寄付』のお礼

新年明けまして、おめでとうございませう。昨年中は、多大の御支援誠に有難うございました。特に、毎年お願いしております「歳末助け合い運動」にあつた年の年末カンパには、農林水産大臣、水産庁をはじめ、漁協系統役員及び水産関係団体・会社の役員一人ひとりから、前年を上回る温かいカンパをお寄せいただきました。ここに御芳名をかかげ、厚くお礼申し上げます。なお、御芳名につきましては、本紙に毎号掲載いたしておりますが、なにも原則二頁建てでありスペースが狭いため、掲載時期が遅れましたことを深くお詫び申し上げます。 ※御芳名(敬称略) 一、漁協系統募金(系統扱い一般寄

- (十月) 岩手県(前全国漁協婦人部協議会長芳賀得代) 広島県 山県 三重県 千葉県 青森県 神奈川 大分県(三原大石・小野則義) 富山県(大黒信吉ほか三件) 佐賀県 明海 岡山県(松尾幸一・香典返し) 千葉県(野島利子ほか三件) (十一月) 富山県 青森県 新潟県(前中部サンパー社長勝尾材吾ほか二十八件) 島根県(佐々木妙子・松田直蔵) 富山県(善光寺政一) 宮城 大分県(鳴原勝・御内室香典返し) 高知県(高知県機船船曳網振興協議会・高知県漁連・高知県、土佐シラス干消費拡大キャンペーン) 宮崎県 (十二月) 青森県(高坂勝栄) 富山県(酒井嘉太郎) 青森県 東京都 千葉県(小宮俊一) 新潟県(新潟県水産公社ほか一件) 岩手県(小林漁業部小林政隆) 青森県 香川 大分県(中嶋一太) 富山県(船平松久) 鳥取県(板倉鉄男・明信丸乗組員御一同様遭難死去に伴う香典返し) 愛媛県(県漁連連会長鎌倉都子・香典返し) 長崎県(橘漁業振興対策協議会ほか六十三件) 千葉県(銚子地区婦人部ほか六件) 和歌山県(田中保雄・玉置守雄) 岩手県(小林漁業部小林政隆) 青森県 鳥取県(同幹夫・御尊父様病氣見舞返礼) 富山県(魚崎義雄) 京都府(舞鶴漁協青年部街頭募金) 沖縄県 熊本県 香川 大分県(県林業水産部漁政課職員一同ほか十五件) 山形県(温海町役場職員一同ほか八件) 愛知県 佐賀県 青森県 福島県 京都府(石倉卓世・御尊父香典返し) 新潟県 二、一般寄付 (三月) 前静岡県漁連会長内野伊勢吉・御令室香典返し 全漁連指導事業会計部 鈴木富士子(東京都墨田区) 小原裕美(茨城県日立市) 三井信託銀行 塩谷保夫・塩谷健次郎(兵庫県神戸市) 天野寿美子(兵庫県神戸市) 埼玉水卸卸人組理事長高野好 (四面につづく)

